

特定建築物排出量削減計画書

(宛先) 京都府知事	平成24年9月24日
住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地) 京都府長岡京市友岡1丁目13番6号	氏名 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 梶岡 益江

工 事 の 種 別	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築			
工事着工予定年月日	平成24年10月15日			
工事完了予定年月日	平成25年8月31日			
特定建築物 の概要	名 称	(仮称) 長岡京阪急新駅駅前PJ		
	所 在 地	長岡京市友岡4丁目618-1他9筆		
	構 造	鉄筋コンクリート造	階 数	地上 5 階 地下 1 階
	敷地面積	1,526.80平方メートル	高 さ	17.10 メートル
	建築面積	750.72平方メートル	床面積の合計 (増築部分の床面積)	2,343.63平方メートル (平方メートル)
	用途別の床面積	住 宅	1,118.70平方メートル	
		ホ テ ル 等		
		病 院 等	(126.33+126.75+81.32+96.74) 431.34平方メートル	
		物品販売業を営む店舗 等	144.54平方メートル	
		事 務 所 等	129.31平方メートル	
学 校 等				
飲 食 店 等		144.59平方メートル		
集 会 所 等				
工 場 等				
特定建築物の環境の保全についての配慮に係る性能に関する評価結果	BEE = $1 - \frac{1.8}{3}$ (B+) B+			

府内産木材等の使用	府内産木材等の種類と使用量	①第11条の2第1号ア該当木材等 ②第11条の2第1号イ該当木材等 ③第11条の2第2号該当木材等 ④第11条の2第3号該当木材等 府内産木材等の使用量の合計量 (①+②+③+④)	立方メートル 立方メートル 立方メートル 立方メートル 立方メートル
	使用する用途		
	府内産木材等の使用量の合計量 (①+②+③+④)		0立方メートル
	府内産木材等の使用基準量		0立方メートル
	当該建築物における木材の使用量の合計量		0立方メートル
再生可能エネルギーを利用するための設備の導入	再生可能エネルギーを利用するための設備の種類	年間で利用可能な再生可能エネルギーの量	
	①太陽光		38,782メガジュール
	②風力		メガジュール
	③水力		メガジュール
	④地熱		メガジュール
	⑤太陽熱		メガジュール
	⑥バイオマス		メガジュール
	⑦その他()		メガジュール
再生可能エネルギーの利用量の合計量 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦)		38,782メガジュール	
温室効果ガスの排出の量の削減を図るために実施する措置		概	要
■ 外壁、屋根又は床の断熱	<ul style="list-style-type: none"> ・外壁：現場発泡ウレタン吹付(ア)15.0 ・屋根：硬質ウレタンボード(外断熱仕様)(ア)30.0 ・2階屋根：現場発泡ウレタン吹付(ア)15.0 		
■ 窓の断熱又は日射の遮蔽	<ul style="list-style-type: none"> ・1～5階外周部主開口部：複層ガラス入り(Low-E) ・庇、バルコニー、廊下による日射遮蔽。3～5階妻住戸袖壁。 		
■ エネルギー消費効率の高い設備の導入	<ul style="list-style-type: none"> ・全館共用部分における高効率照明器具(LED)の採用。 		
■ 環境への負荷が少ない材料の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・躯体基礎栗石再生骨材品仕様。 ・外構舗床コンクリートブロック再生品使用。(エコマーク) ・住戸内壁紙類再生材料品使用。(エコマーク) 		
■ 節水型設備の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・節水型便器を採用。 		
■ 雨水、雑排水等の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒートアイランド対策として外構舗床の使用材料について保水性ブロック、保水性アスファルト舗装を採用する。 		
■ 耐用年数が高い材料及び設備の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・外部仕上げについて耐久性の有る材料選択(屋根、外壁、塗装材) 		
■ 建築物の維持管理の容易性に対する配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・外壁タイル貼低汚損品を選択。コンクリート打放し部光触媒塗布による低汚損を図る。屋根を含む金属部については、フッ素樹脂焼付による超耐候性の維持。 		
■ 緑化の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・外構緑化指数24.6%を保有。(CASBEEによる中間評価) ・H24.8/末を以って「緑化計画書」済済済み。 		
■ その他	<ul style="list-style-type: none"> ・空調設備の床エネルギー化(空冷ヒートポンプエアコン使用) ・自然採光、自然換気の利用。 		

注 1 該当する口には、レ印を記入してください。

2 この計画書には、次に掲げる事項が分かる書類を添付してください。

(1) 再生可能エネルギーを利用するために導入しようとする設備の内容

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減を図るために実施しようとする措置の内容

3 「府内産木材等の使用基準量」には、第22条第3項の規定により産出した数値を記入の上、その産出の根拠となる資料を添付してください。